

食と地域の交流促進集落活性化対策

都心型市民農園

23年度 概要

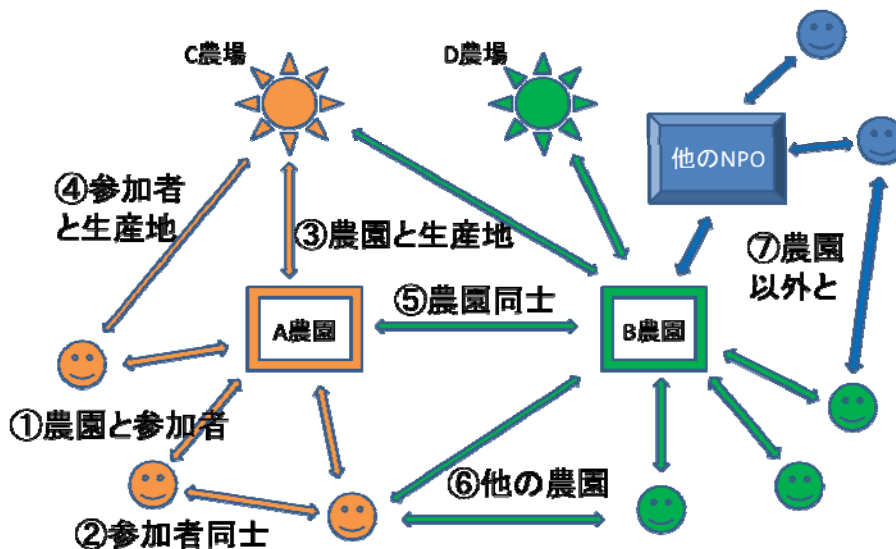
都心型市民農園協議会

農園の付加価値を上げる

1 多様なネットワークの構築

都心で農の体験をするということは、作物の生産だけではなく参加者同士や生産者との交流などによる楽しみも重要な要素となる。農園の参加者同士、参加者と都市周縁の生産者との交流、他の都心型農園との交流、遠隔地の生産者との交流などである。

こうした多様なネットワークを通じて、参加者同士が刺激を受け、農園の新しいイベントなどの企画につながってくる。



ネットワーク イメージ図

2 継続して飽きさせない工夫（果樹園との組み合わせを提案）

幅広い層が、年間を通じて飽きさせない工夫が必要である。

畑以外の要素との組み合わせも重要である。果樹や花卉などと組み合わせることにより農園活動のバリエーションが大きくなる。特に果樹の場合は、高さを調整することにより、子供から老人まで屈まずに楽な姿勢で収穫できるメリットがある。

3 幅広い層への対応

野菜畑だけではなく果樹などと組み合わせることにより、年齢的に幅広い層への対応となる。子供向け、学生向け、若い女性向け、子育て世代向け、熟年世代向け等の特色のある講座や教室等が開催出来る。

4 その他、農園の付加価値を高める工夫

生産者や生産地と連携して。話題性のあるイベント等を開催する。

レストラン、カフェと提携して都心の店で野菜を調理、果実酒などをつくり楽しむ。

参加者同士の交流を促進するため、海外ツアー（マルシェ探訪）、産地の旬の味探訪ツアーなどを企画する。

都心型農園のタイプ

果樹園との組み合わせを想定した都心型農園の5タイプを作成。

① 牧場とのネットワーク農園

東北の農場とのネットワークによる、有機野菜・有機果樹を利用した都心型農園。宮沢賢治と牧場との関連から、童話の世界やイーハトーブの理想を提供する。震災に負けないという東北からのメッセージも送る。

② 大都市近郊のコミュニティ農園

周辺農家と市民をつなぐコミュニティビジネス人材育成の拠点としての農園。農業を理解し農家と市民の橋渡しとなる「専門講座を受けた市民農園支援グループ」の実践農場。市民と農家にも開かれた場となる。

③ 沿岸部防災を兼ねた屋上農園

津波や洪水からの避難場所を兼ねた、立体駐車場屋上の日常利用としての農園。避難場所の市民への認知と地域コミュニティの場を提供する。

④ 健康産業とのタイアップ屋上農園

スポーツ施設を併設するデパートの屋上で、健康産業とタイアップした農園。

⑤ 老健施設ルーフバルコニー農園

老健施設入居者が楽しむ農園と果樹園。入居者の家族会が中心となり、野菜や果樹を育て、加工し、飲食し、販売等のイベントとしても楽しむ。

1 牧場とのネットワーク農園

【コンセプト】

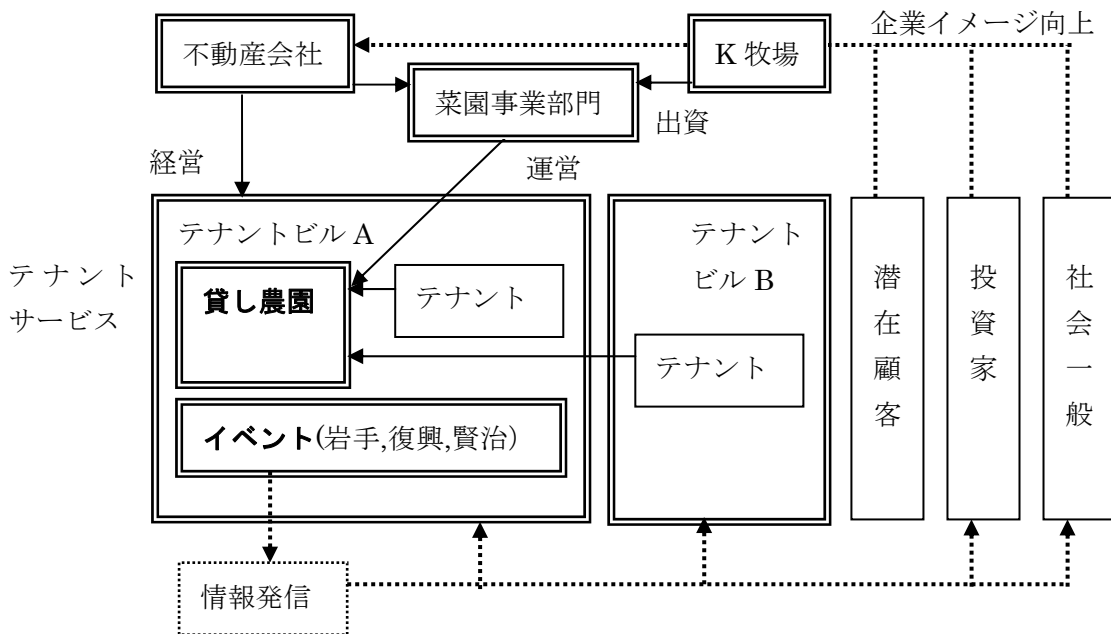
東北の農場とのネットワークによる、有機野菜・有機果樹を利用した都心型農園。宮沢賢治と牧場との関連から、童話の世界やイーハトーブの理想を提供する。震災に負けないという東北からのメッセージも送る。

【設置場所】

・大手町のテナントビルの屋上

【場所の特性】

テナントビル屋上のためセキュリティや安全対策が重要



【農園の概要】

- ・ビルテナント向け貸農園
- ・岩手県の野菜や山菜を中心に
- ・牧場のブルーベリー、ジューンベリー、ナツハゼ等
- ・牧場産の完熟牛糞による栽培

【事業目的】

- ・テナントに対するサービス
- ・地域ブランドの向上、情報発信
- ・企業グループのイメージアップ

【事業主体】

- ・テナントビルオーナー会社と農場との共同出資

【運営主体】

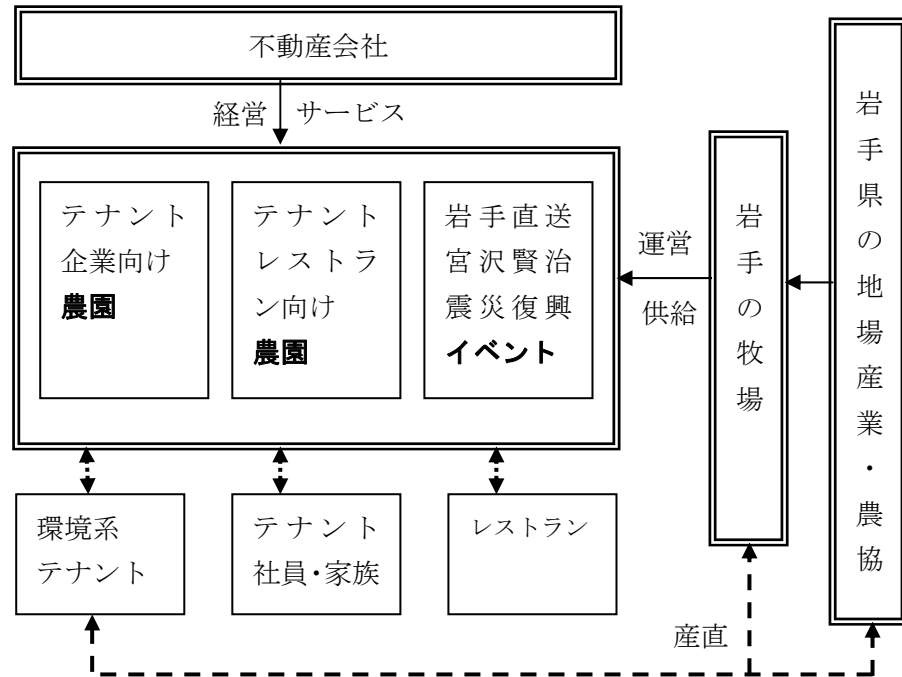
- ・牧場の緑化部門など

【事業の概要】

- ・ビルのテナント企業向けに菜園を貸し出す
- ・果樹部分はイベント用（摘み取り、ジャムへの加工、直営レストラン）
- ・直営レストランでの農園フェアの実施、宮沢賢治童話のメニュー

【運営の概要】

- ・テナントオーナーと農場の共同企画。菜園の管理は農場が行う。

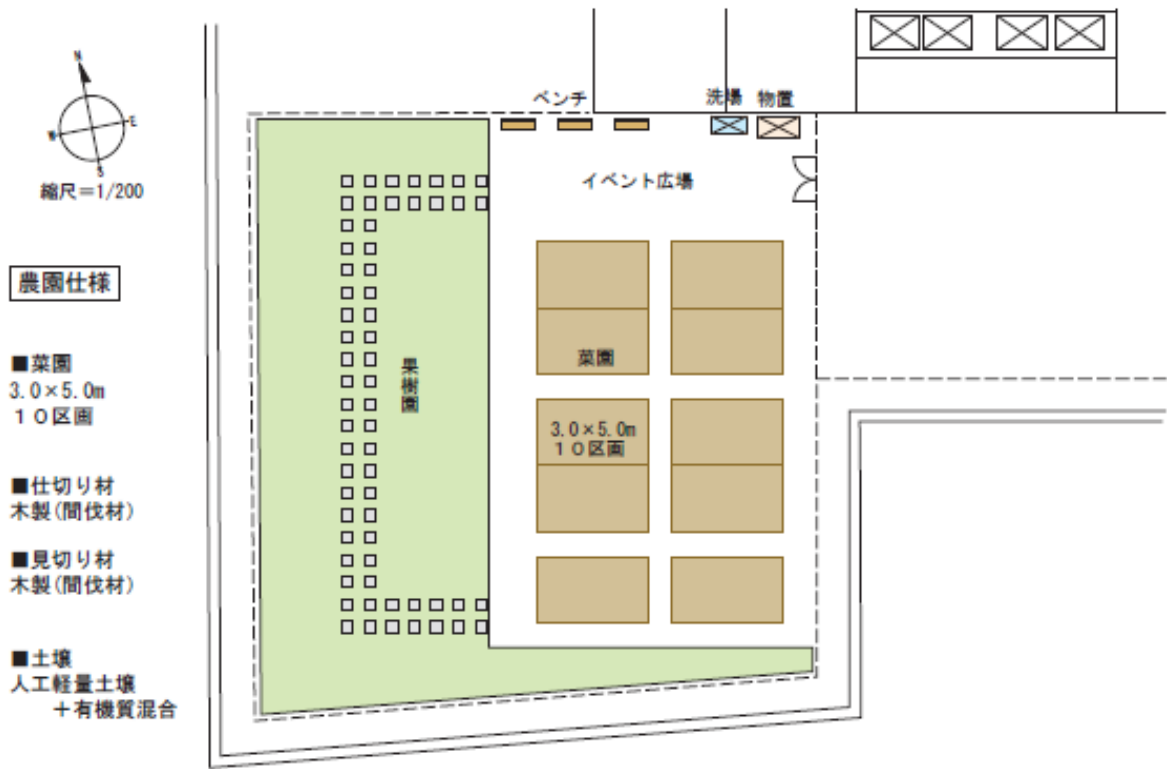


岩手 牧場

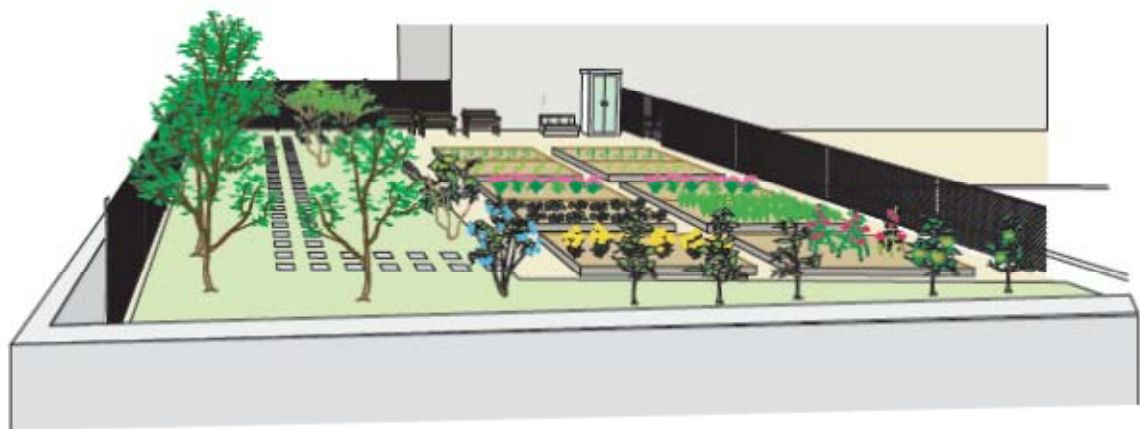


ブルーベリー

【屋上平面図】



【イメージ図】



2 大都市近郊のコミュニティ農園

【コンセプト】

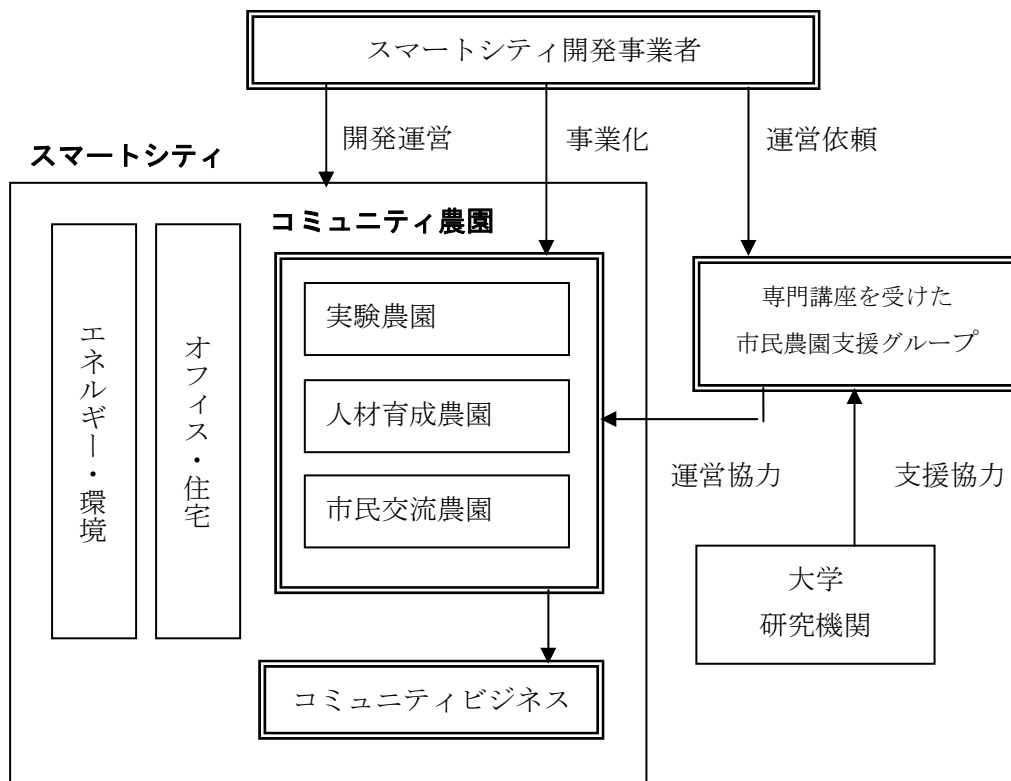
周辺農家と市民をつなぐコミュニティビジネス人材育成の拠点としての農園。農業を理解し農家と市民の橋渡しとなる「専門講座を受けた市民農園支援グループ」の実践農場。市民と農家にも開かれた場となる。

【設置場所】

- ・スマートシティ開発予定地

【場所の特性】

- ・開発予定地なので、5－10年の暫定利用となる。



【農園の内容】

- ・市民農園のための実験や人材育成、交流のための体験型農園
- ・市民農園で一般的な野菜で病虫害防除や連作等が問題となるもの
- ・果樹も市民レベルで栽培可能なブドウなど

【事業目的】

- ・スマートシティの環境共生の一翼を形成
- ・地域ブランドの形成 ・企業イメージアップ

【事業主体】

- ・スマートシティを推進する企業

【運営主体】

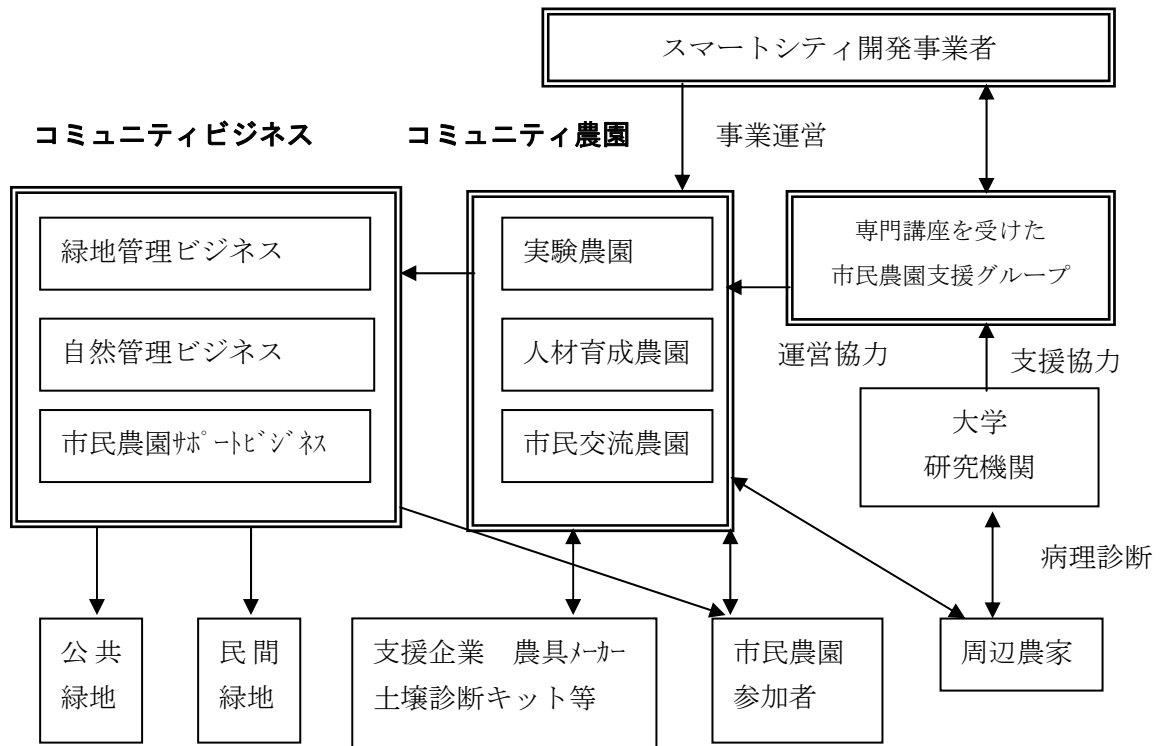
- ・ 専門講座を受けた市民農園支援グループが全面的に運営支援をする

【事業の概要】

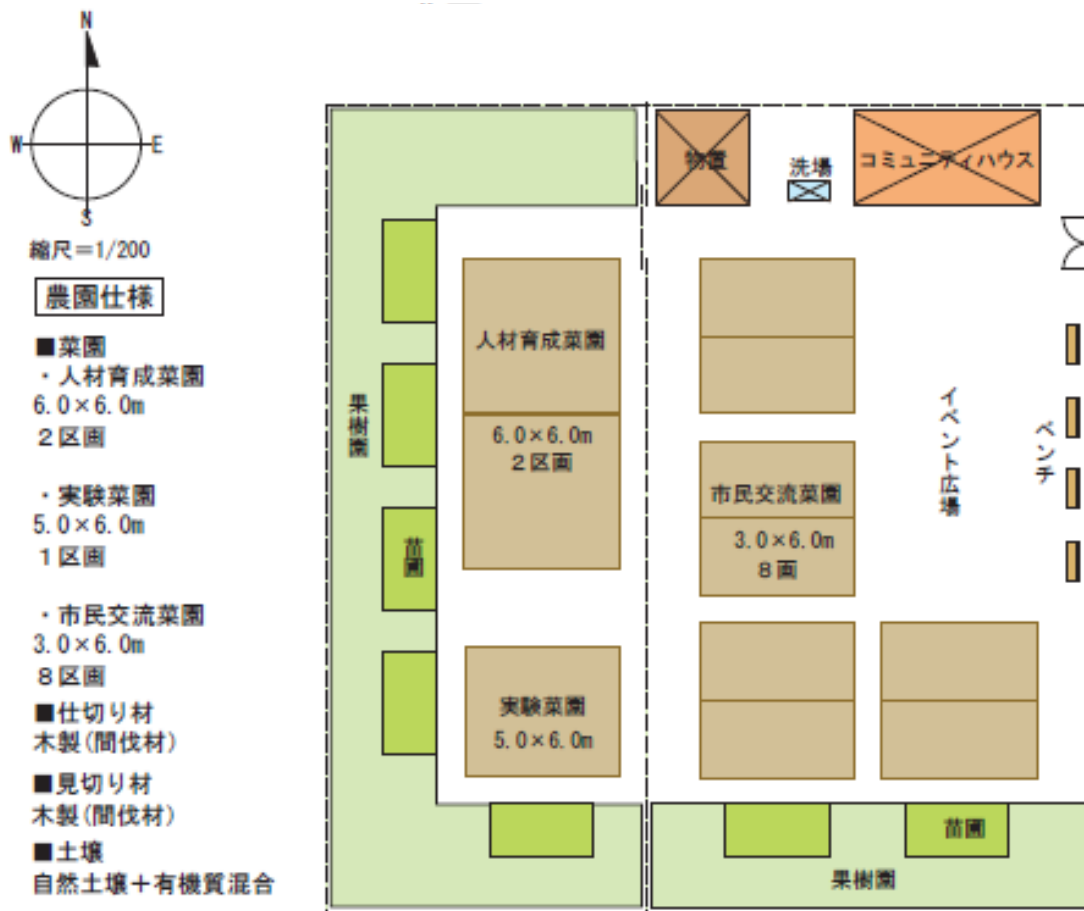
- ・ 都市開発企業は、街づくりの一環として人材育成や市民向け講習会、人材派遣などを事業化する
- ・ さらに緑地や自然管理、市民農園サポートなどのコミュニティビジネスへの展開
- ・ 例えば、市民向けの土壌の簡易診断キットなどをスポンサーと提携して開発・普及させる。

【運営の概要】

- ・ 事業者である都市開発企業に対して、専門講座を受けた市民農園支援グループが全面的に運営協力を行う。
- ・ さらに、植物病理に関しては大学が運営する研究機関がサポートする。



【屋上平面図】



【イメージ図】



3 沿岸部防災を兼ねた屋上農園

【コンセプト】

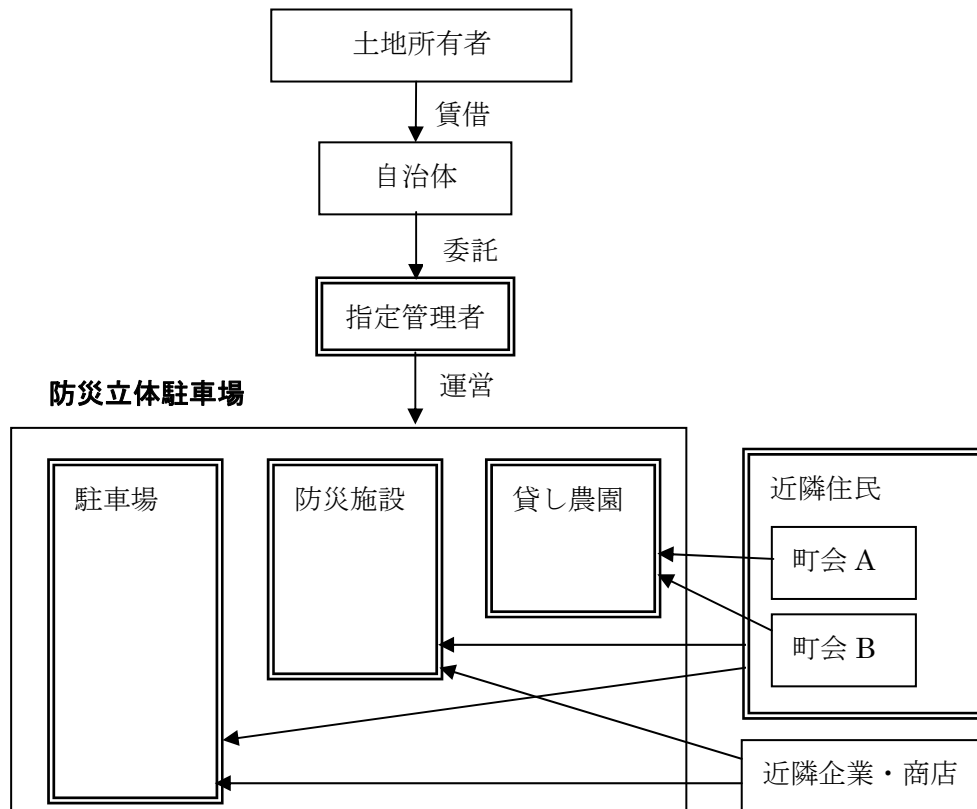
津波や洪水からの避難場所を兼ねた、立体駐車場屋上の日常利用としての農園。避難場所の市民への認知と地域コミュニティの場を提供する。

【設置場所】

- ・都心河川堤防後背地や臨海部の自走式駐車場の屋上

【場所の特性】

- ・工場の跡地など土壌汚染対策で凍結。
- ・想定される津波や河川決壊時の水位を超える立体駐車場屋上。



【農園の内容】

- ・町内会など自治会単位で借りて独自の企画で栽培・運営する
- ・共通イベント用の果樹の植え込み
- ・避難時の為の簡易シェルターや備蓄倉庫も併設

【事業目的】

- ・防災の場の日常的活用
- ・駐車場と農園会費による賃貸収入

【事業主体】

- ・ 地方自治体（区）

【運営主体】

- ・ 地域のボランティア団体

【事業の概要】

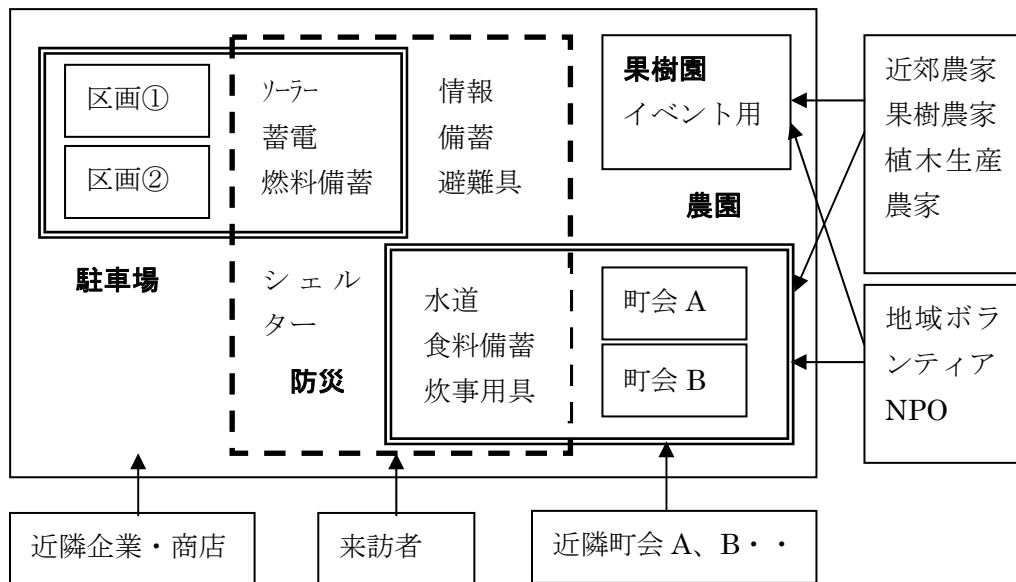
・ 地方自治体（区）が土地所有者より定期借地権で 30 年借り上げ、防災駐車場を建設。駐車場と屋上農園を経営

- ・ 農園は近隣の町内会単位で有料で貸し出す

【運営の概要】

- ・ 町内会を横断する組織が合議制で運営する

防災立体駐車場



自走式立体駐車場屋上活用例

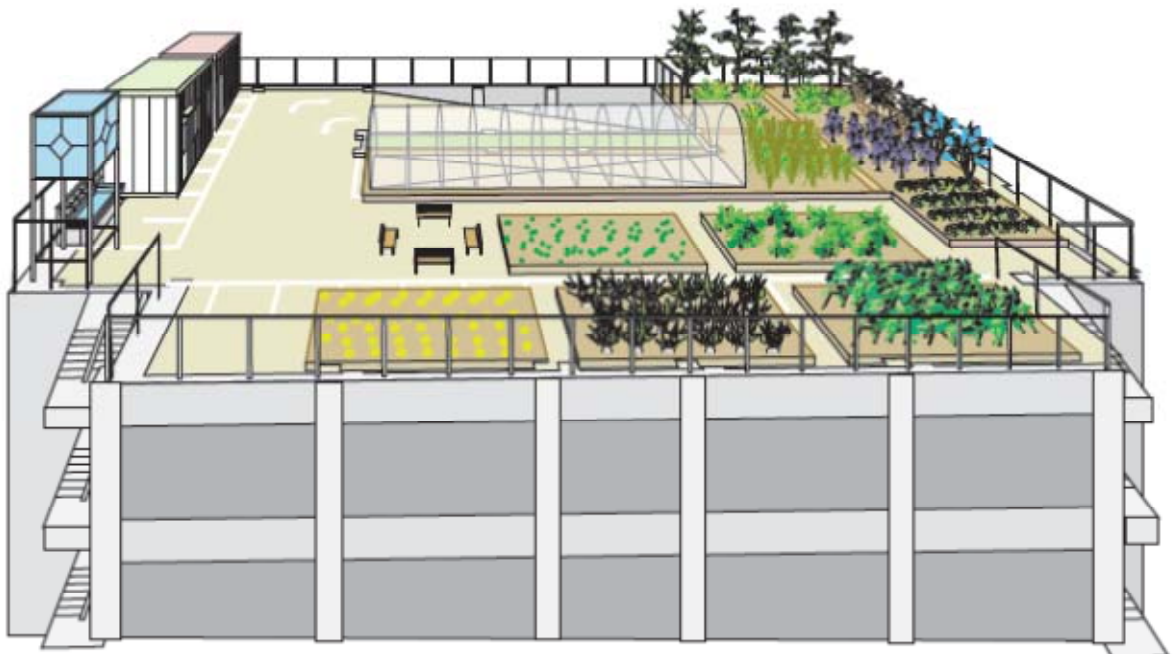


自走式立体駐車場屋上階例

【屋上平面図】



【イメージ図】



4 健康産業とのタイアップ屋上農園

【コンセプト】

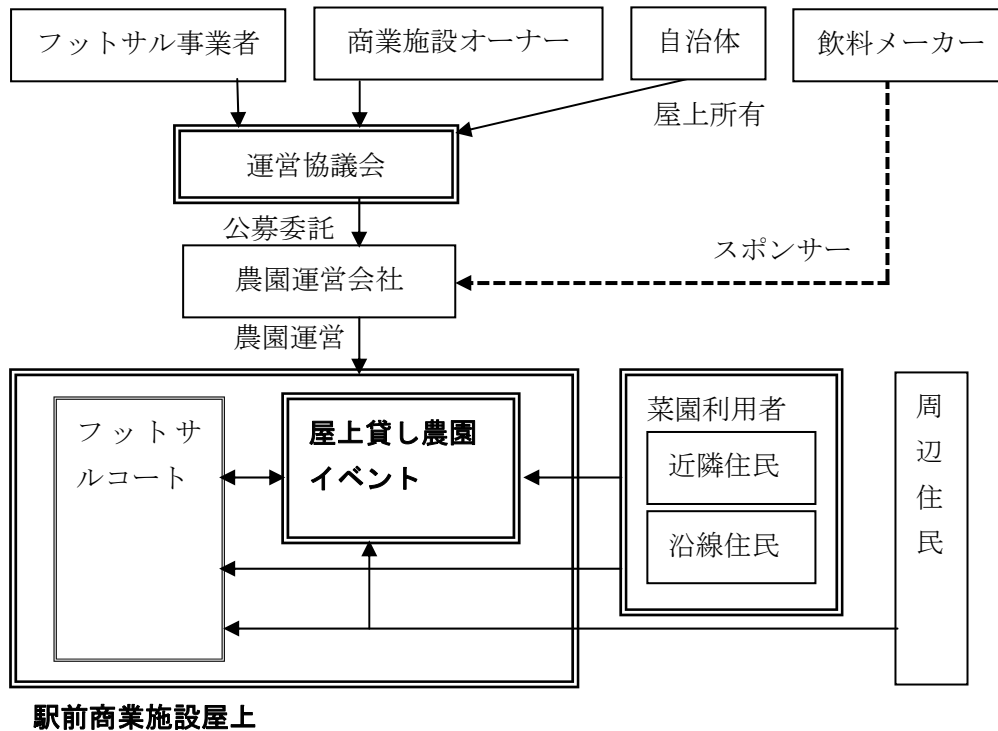
スポーツ施設を併設するデパートの屋上で、健康産業とタイアップした農園を経営する。

【設置場所】

- ・ターミナル駅前の商業施設の屋上
(丸井)

【場所の特性】

- ・屋上低部にフットサル施設があり、その上階の屋上にある受付と脱衣場との途中のスペース。



【農園の内容】

- ・分区型の市民対象の貸農園
- ・スポンサーのドリンクに使用する果汁や野菜苗の提供、果樹の植込
- ・総武線沿線の千葉の農家の苗

【事業目的】

- ・デパートの集客（シャワー効果）
- ・健康産業のPR
- ・遊休屋上の活用と賃貸収入

【事業主体】

- ・健康産業とデパートの共同出資

【運営主体】

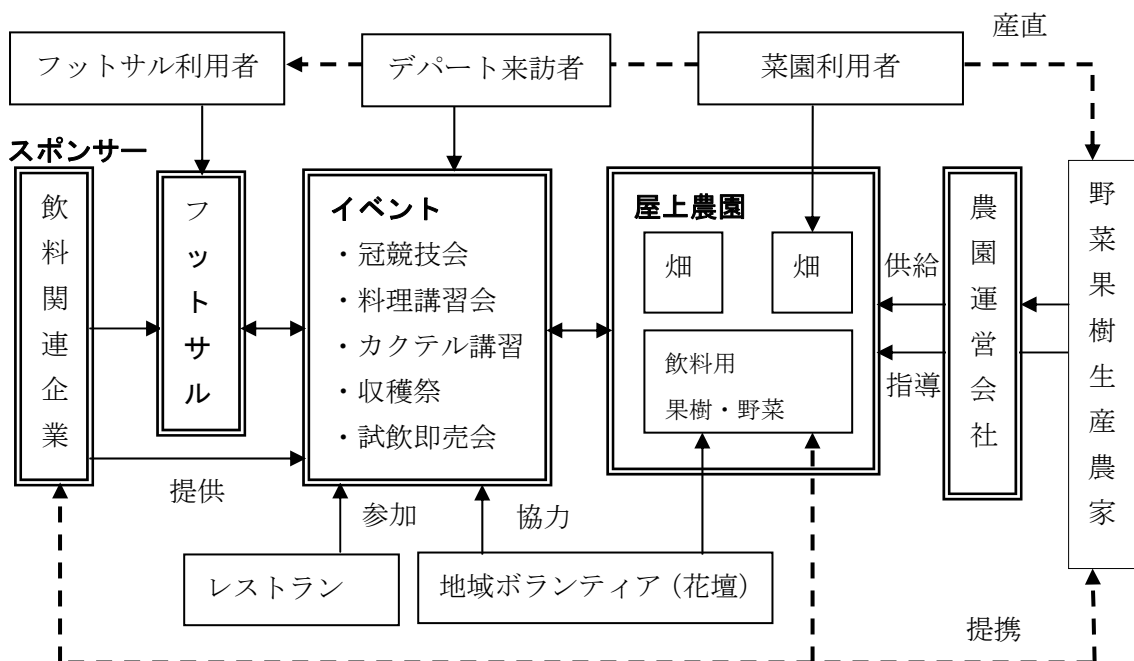
- ・ 同上に加えてスポーツ施設が企画・運営

【事業の概要】

- ・ デパート屋上の遊休スペースを利用した一般向け貸農園事業
- ・ スポンサーを入れることによって事業性の向上と PR 効果を狙う
- ・ スポンサーによる健康料理教室、ドリンク販売

【運営の概要】

- ・ 収穫祭、料理教室、野菜作り講習会（スポンサー主体）
- ・ フットサル参加者と農園参加者の交流（ドリンクやジャムづくり、販売など）

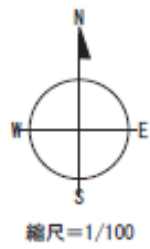


屋上フットサルコート



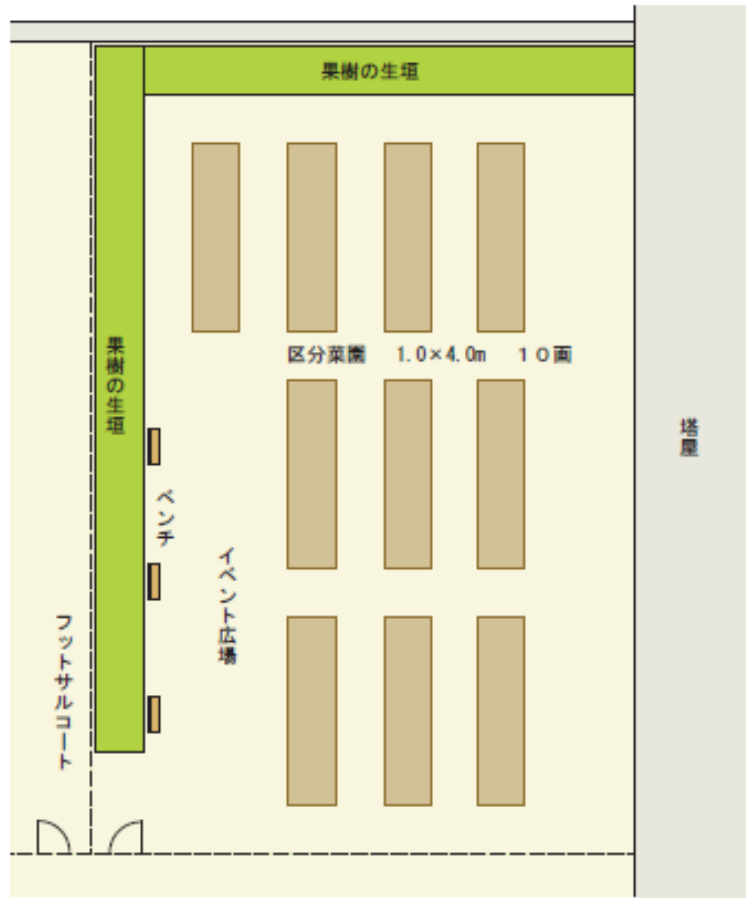
商業施設屋上例

【屋上平面図】



農園仕様

- 菜園
1.0×4.0m
10区画
- 仕切り材
木製(間伐材)
- 見切り材
木製(間伐材)
- 土壌
人工軽量土壌+有機質混合



【イメージ図】



5 老健施設ルーフバルコニー

【コンセプト】

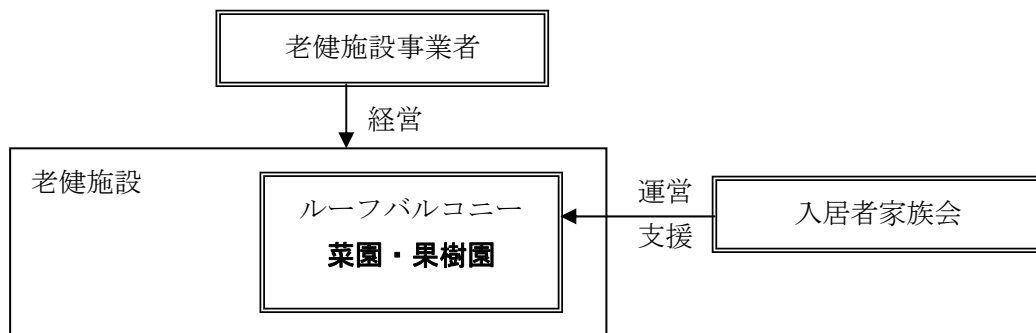
老健施設入居者が楽しむ農園と果樹園。入居者の家族会が中心となり、野菜や果樹を育て、加工し、飲食し、販売等のイベントとしても楽しむ。

【設置場所】

都内の高齢者施設

【場所の特性】

- ・比較的広いルーフバルコニー（3×30m）



【農園の内容】

- ・入居者向けの菜園と果樹園
- ・育てやすく育て甲斐のある野菜や孫の喜ぶものなど（果実、芋）
- ・皆で加工する楽しみのある果実など

【事業目的】

- ・入居者へのサービス
- ・入居者の楽しみ、生きがい
- ・地域に理解される施設づくり

【事業主体】

- ・老健施設事業者

【運営主体】

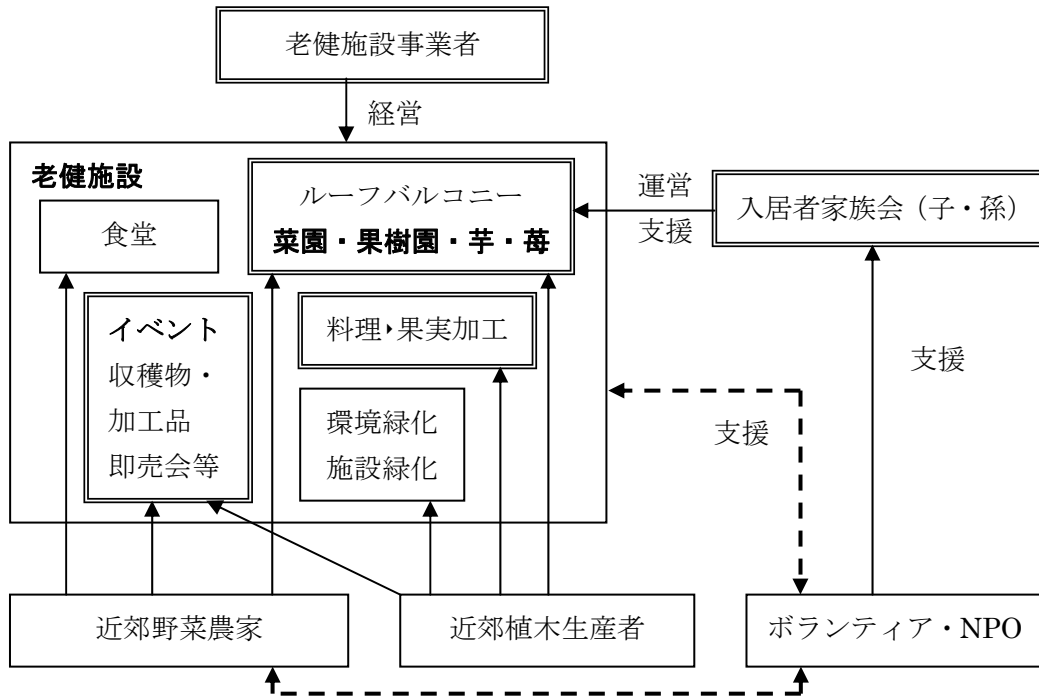
- ・施設事業者と入居者の家族の会

【事業の概要】

- ・入居者向けの菜園と果樹園
- ・入居者が家族と栽培や調理、加工などを楽しむ
- ・地域に開かれた生產品、加工品販売などのイベントを行う

【運営の概要】

- ・家族の会が地域のボランティアとともに、栽培、収穫、料理、加工、地元公開の直売イベントなどを支援
- ・野菜や果樹供給農家から食堂や直売会、施設緑化への協力



老健施設のバルコニー



老健施設例

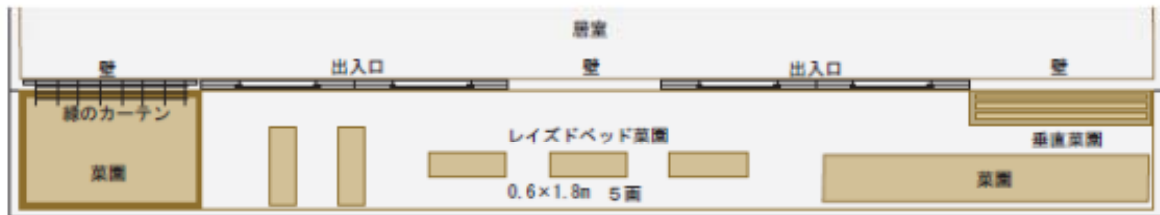
【屋上平面図】

老健施設ルーフバルコニー農園



農園仕様

- 菜園
 - ・レイズドベッド菜園
0.6×1.8m
5区画
 - ・菜園
4.0×2.5m 7.5×1.0m
 - ・垂直菜園
4.0×高2.0m
- 架台 他
廃プラスチック
- 土壌
人工軽量土壌+有機質混合



【イメージ図】

